

# 平成 30 年度 第 1 回全国有床診療所連絡協議会役員会

と き 平成 30 年 5 月 27 日 (日) 13:00 ~ 16:30

ところ TKP 品川カンファレンスセンター 8F「バンケットホール」

[ 報告 : 山口県医師会有床診療所部会長 正木 康史 ]

平成 30 年度の標記協議会の第 1 回役員会が 5 月 27 日に TKP 品川カンファレンスセンターで開催された。

最初に鹿子生会長が「今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定があり、また、この 4 月より医療法が改正されて有床診療所の新規開設がしやすくなっている。今年は役員改選の年であり、全国のブロック割の変更、それに伴う会則の施行規則の変更等、本日は多くの協議事項があり、よろしくお願ひしたい」と挨拶された。

## 議題 (報告事項)

### 1. 平成 29 年度庶務事業報告 (松本専務理事)

定時総会 (平成 29 年 7 月 1 日・2 日 大分)、4 回の常任理事会及び 4 回の役員会の開催、その他、有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会の開催、日医執行部との懇談、厚労省訪問・懇談などの多くの活動報告があった。

### 2. 平成 29 年度決算について (松本専務理事)

松本専務理事より平成 29 年度の収支決算書の説明、高柳監事より監査報告があった。承認され全国総会に諮ることとなった。

### 3. 自民党有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会について (葉梨最高顧問)

平成 30 年 4 月 12 日 (木) に自民党本部で開催され、全国協議会より 9 名が出席し、以下の項目についての報告、要望を行った。

- ① 介護診療報酬同時改定の評価
- ② 介護医療院について
- ③ 事業継承税制について

### ④ スプリンクラー設置について

これらに対し、厚労省及び消防庁より説明があり、前向きな回答が得られた。

### 4. 在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループについて (葉梨最高顧問)

この会議はしばらくの期間、開催されていなかったが、今回は「第 7 次医療計画における在宅医療に関する策定状況について」の報告があった。

## 議題 (協議事項)

### 1. 次期役員改選について

現在の北海道・東北ブロックを北海道ブロックと東北ブロックに分け、北陸・東海・近畿ブロックも中部ブロックと近畿ブロックに分け、それぞれのブロックより常任理事を出していただく平成 30 年・31 年度新執行部 (案) が承認され、総会に諮ることとなった。

### 2. 平成 30 年度事業計画 (案) について

(鹿子生会長)

右頁の事業計画 (案) が検討され、総会に諮ることとなった。

### 3. 平成 30 年度予算 (案) について (松本専務理事)

今年は“若手医師の会”の開催を予定しており、そのための会議費の増額等の予算 (案) の説明があり承認され、総会に諮ることとなった。

### 4. 要望書 (案) について (鹿子生会長)

今年 7 月に山口市で開催される全国総会で日

医会長へ提出する要望書（案）が協議され、承認された。総会での承認をいただいて日医会長に手交する予定である。

#### 5. 若手医師の会について（原 広報担当理事）

今年は全国総会山口大会での“若手医師の会”の開催を予定している。実り大きな、より充実した会にしていく方向性が示された。

#### 6. 総会について

##### ・第 31 回

平成 30 年 7 月 28 日（土）・29 日（日）

山口県山口市

##### メインテーマ

「有床診療所に明るい未来を！～国策に呼応する有床診療所の必要性～」

##### ・第 32 回

平成 31 年 7 月 27 日（土）・28 日（日）

群馬県高崎市

##### メインテーマ

「個性あふれる有床診～今こそ、“かかりつけ医”の活動を！～」

### 平成 30 年度 事業計画（案）

全国の有床診療所を活性化し、少子高齢社会における地域の医療を守るべく、在宅医療や地域包括ケア体制の実現に努力し、国民の健康と生命を守る地域医療の中核となるべく活動する。医師の専門団体である日本医師会・都道府県医師会と連携して組織の強化を図る。その為に以下の事業を行う。

1. 地域住民のニーズに応えるべく、医学・医療の研鑽に努めると同時に、「かかりつけ医」として総合的な初期医療を実践し、医療の質の向上と内容の充実を図る。
2. 有床診療所の経営安定化のための対策を講じる。
3. 有床診療所・地域包括ケアモデルのかかりつけ医機能を推進すべく、介護事業（ショートステイ・介護医療院等）への参入を支援する。有床診療所・専門医療提供モデルの活性化を図るため、各専門医会との連携を進める。
4. 有床診療所における災害の発生防止と対応に十分な対策を講じる。  
（スプリンクラー補助金の活用促進を図る）
5. 次世代を担う“若手医師の会”の活動を活発化し、支援する。
6. 広く全国の地域住民への理解を深めるため、「有床診療所の日」記念行事を継続し、積極的な広報活動を行う。